

令和4年3月15日

那須烏山市議会議長 渋井由放 様

議会改革特別委員会委員長 中山五男

### 所管事務調査結果報告書

平成30年第3回6月定例会において本委員会が申し出を行った閉会中の継続調査の結果について、那須烏山市議会会議規則（平成17年10月那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により、次のとおり報告します。

- 1 調査期間 平成30年6月11日から令和4年3月15日まで
- 2 構成委員 中山五男、村上進一、興野一美、福田長弘、矢板清枝、小堀道和、渋井由放、沼田邦彦、平塚英教
- 3 調査事項
  - (1) 議会改革に関する事項
  - (2) その他特に必要と認めた事項

### 4 調査結果

議会に求められる役割が拡大・多様化している中、市民の負託に応えられる開かれた議会の実現を目指し、道半ばである議会改革を力強く推し進めるため、本委員会では主に以下の点について取組を行った。

- ・議会基本条例は、議会の最高規範であり、議会の在り方を市民に対して示すものである。前任期の議員から引継を受ける形で条例制定に向けた協議を開始し、パブリックコメントを経て、平成31年3月に制定した。
- ・令和元年10月27日、議会基本条例に基づく取組として議会報告会を開催し、全議員及び市民16名が参加した。議会報告会は、市民に信頼される開かれた議会づくりを推進することを目的とするもので、第一部として各常任委員会の活動報告、第二部として参加者との意見交換会を実施し、参加者からは、市の重要施策や令和元年東日本台風における対応など様々な意見が寄せられた。
- ・令和2年1月25日、議会基本条例に基づく取組として烏山高等学校との意見交換会を開催し、全議員及び生徒19名が参加した。烏山高等学校が地域の課題解決に向けて取り組む「烏山学」の成果発表及び意見交換会を実施し、生徒による先進地視察等に基づく政策提言や活発な意見交換が行われた。

- ・ 政務活動費について、県内の市議会の支給状況や市の財政負担などを考慮し、これまで同様支給しないこととし、当面予算要求を行わない方針を決定した。
- ・ 本会議録画映像について、会議録の調製や議会だよりの作成までに時間を要することから、市民に向けた迅速な情報伝達手段の一つとして一般質問の録画映像を公開した。
- ・ 議員定数の在り方について、県内の市議会や全国の類似団体との人口規模や財政規模等の比較や検討を行った。議員によるアンケートを実施した結果、「定数削減は市民の意見を反映しにくくなる」などの意見があった一方、「定数を削減して審査等の合理化を図るべき」などの意見もあり、定数を削減すべきとの回答が多かったことから、現行定数から1名削減し、次に行われる一般選挙から定数16名とすることを決定した。
- ・ 議会ICT化の取組について、議会基本条例では、議会運営の改善や改革に関する規定が定められており、社会情勢の変化への対応やペーパーレスの推進を図るため、議会タブレット端末の導入についての検討を行った。議会運営の効率化・迅速化のほか、市が取り組むゼロカーボンシティの推進に期待できることから、令和4年度からタブレット端末及びペーパーレス議会システムの導入を決定した。なお、導入初年度は、タブレット端末と紙ベースとを併用するとともに、操作研修会を実施し、議会運営に支障がないよう十分に配慮することとした。
- ・ 予算審査及び決算審査に係る特別委員会の設置について、審査の合理化を図るため、これまでの常任委員会による審査方式から、特別委員会を設置しての審査方式に変更するための検討を行った。大枠としては特別委員会を設置しての審査方式に合意を得られたものの、詳細事項について協議を要することから、市議会議員選挙執行後の新たな議会体制のもと設置に向けた協議を進められるよう引き継ぐこととした。
- ・ 議会基本条例の制定以降、当該条例に基づき議会運営や議会改革に取り組んできたところである。制定後の取組状況や実績等の評価検証を行い、今後の課題や対策等については、市議会議員選挙執行後の新たな議会体制に引き継ぐこととした。